

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

230

施設管理事務

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	1	地域を支える既存産業の振興
施策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	3	地域の生活を支えるサービス産業の生産性向上

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	卸売市場事業特別会計		
	款	卸売市場費		
	項	卸売市場費		
	目	卸売市場費		
	大事業	卸売市場事業		
	中事業	施設管理事務		

事業種別	継続		関連個別計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	中央卸売市場 菅野 純政 431-3161
事業実施の根拠法令	卸売市場法・和歌山市中央卸売市場業務条例		関連課		

1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
事業目的	中央卸売市場の施設維持及び管理		中央卸売市場施設維持管理			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		○使用料等の賦課及び徴収。 ○所々修繕や機械修繕等による施設の適切な維持。 ○市場使用料等の賦課及び徴収。 ○業務委託による市場内の警備。 ○中央卸売市場運営協議会の開催。	○使用料等の賦課及び徴収。 ○所々修繕や機械修繕等による施設の適切な維持。 ○市場使用料等の賦課及び徴収。 ○業務委託による市場内の警備。 ○中央卸売市場運営協議会の開催。	○使用料等の賦課及び徴収。 ○所々修繕や機械修繕等による施設の適切な維持。 ○市場使用料等の賦課及び徴収。 ○業務委託による市場内の警備。 ○中央卸売市場運営協議会の開催。	○使用料等の賦課及び徴収。 ○所々修繕や機械修繕等による施設の適切な維持。 ○市場使用料等の賦課及び徴収。 ○業務委託による市場内の警備。 ○中央卸売市場運営協議会の開催。	○使用料等の賦課及び徴収。 ○所々修繕や機械修繕等による施設の適切な維持。 ○市場使用料等の賦課及び徴収。 ○業務委託による市場内の警備。 ○中央卸売市場運営協議会の開催。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	332,222	269,065	309,164	262,306	293,992	256,555	282,058	0	282,058	0
伸び率(%)	△2%	△0.9%	△6.9%	△2.5%	△4.9%	△2.2%	△4.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	37,038	37,038	27,757	25,922	25,974	19,501	18,062	0	0
	正規職員以外	11,791	11,791	10,896	11,804	12,701	13,944	17,448	0	0
	小計	48,829	48,829	38,653	37,726	38,675	33,445	35,510	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	228,961	185,141	160,782	216,583	232,903	235,199	239,492	0	0	0
一般財源(税等)	103,261	83,924	148,382	45,723	61,089	21,356	42,566	0	282,058	0
所要人数(人)	正規職員	4.66	4.66	3.48	3.25	3.25	2.44	2.26	0.00	0.00
	正規職員以外	5.15	5.15	4.80	5.20	5.35	6.14	6.31	0.00	0.00
主な予算内訳	光熱水費(予算) 139,959千円、管理委託料 62,636千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	督促・催告状の発送件数	件	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	139	97	58		
			達成度(%)	231.7%	161.7%	96.7%	0%	%
成果指標	施設使用料等(現年度)の取納率	%	目標値	99.2	99.3	99.4	99.5	99.6
			実績値	99.47	99.73	99.50		
			達成度(%)	100.3%	100.4%	100.1%	0%	%
			目標値					
			実績値					
	達成度(%)							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	施設の維持管理に努めると共に、使用料等の徴収の強化に取り組む。
見直し・改善内容	再整備を見据え、必要な箇所の修繕等、施設の維持管理に努める。